

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 30年 3月 30日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
企画名	
平成 29 年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 市民公開講座「もっと知ろうよ！緩和ケア」	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
公式ホームページ及び Facebook での事前告知、学術大会での告知チラシ配布、 新聞・公式ホームページでの告知記事掲載とメール・はがき・FAX による応募募集、 関東のがん診療連携拠点病院でのチラシ配布	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2018 年 1 月 14 日(日) 13:30 ~16:30
実施場所	イイノホール〔東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング 4F〕
参加人数	定員 450 名… 一般市民・参加費無料 応募総数… 716 名(内訳: WEB 440 名, FAX 237 名, はがき 39 名) 参加総数… 396 名(内訳: WEB 240 名, FAX 135 名, はがき 16 名, 当日 5 名)
具体的な実施内容:	
<p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>I. 「生命を脅かす病気と診断されたときからの緩和ケアの必要性と重要性について」 細川 豊史 氏(日本緩和医療学会 理事長/京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学会教室 教授)</p> <p>II. 「診断時からの緩和ケア -看護師にできること-」 柏谷 優子 氏(辻仲病院柏の葉 緩和ケア病棟 看護師長 緩和ケア認定看護師)</p> <p>III. 「痛み止めと上手につきあおう~医療用麻薬って?~」 金子 健 氏(慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター専任薬剤師)</p> <p>IV. 「治療中のお金や仕事の問題について」 杉浦 貴子 氏(聖マリアンナ医科大学病院 がん相談支援センター ソーシャルワーカー)</p> <p>V. ディスカッション「緩和ケアを診断時から活用するためには?」 座長: 下山理史 氏(愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター センター長) 池永昌之 氏(淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長)</p> <p>パネリスト: 天野 慎介 氏(全国がん患者団体連合会理事長) 細川豊史 氏・柏谷優子 氏・金子 健 氏・杉浦貴子 氏</p>	

## < 展示他 >

- ・ ホールホワイエ：今年度の街頭イベント〔兵庫県西宮市にて実施〕で作成した緩和ケアの理想パネルと、平成 28 年度に作成した緩和ケアの過去・現在パネルの展示
- ・ メインロビー：緩和ケアに関する資料の展示と配布
- ・ 動画上映：平成 28 年度に作成した普及啓発動画の上映（講演開始前・休憩時間）

## 効果について(アンケートの結果など)

- ◆ 講演内容に好意的な意見が多く、特にディスカッションが良いという意見が多数あった。具体例が欲しいという声が多いが、具体例に対し全員がそうではないと批判的な声もあった。心のケアを知りたいという意見や、不安を訴え診療内科を紹介されたという精神領域への抵抗を感じる意見もあった。
- ◆ 講演を聴き痛みへの対処方法を知れた、又はもっと知りたいという意見が多数みられた。また痛みのケアがまだまだであるという意見もあった。
- ◆ 主治医に相談しにくい雰囲気であったり、忙しそうで気後れするという意見が今年度も多い。医療従事者の知識不足や地域格差を指摘する意見、満足な緩和ケアを受けていないという意見が今年も見られたが、中には緩和ケアと説明なくケアを受け、「緩和ケアを受けていない」と思っている方も含むと思われる。
- ◆ 相談支援窓口の情報は広く知られておらず、患者支援団体・サロンの情報を必要時に得られなかった意見があった。また闘病関係のお金の話を具体的に知りたいという意見が例年あが、個別で対応が異なるため相談支援窓口の活用を普及啓発する必要がある。
- ◆ 資料が欲しいという意見は例年多く、講演内容を元に採録掲載する放送を数回する方が良いと思われた。またインターネットを使用しない年齢層も多く、病状により採録の掲載までに情報が欲しい方もいる為、何らかの資料を用意することを検討する必要がある。
- ◆ 患者・家族は知識を初歩から知る必要がある、小さな疑問や多くの悩み・誤解を医療従事者は辛抱強く解く努力を続ける必要がある。緩和ケアについて知らなければ希望できないため、医療従事者は丁寧に説明する必要がある。患者・家族も気後れせず、お互いへの尊敬を忘れずに納得するまでコミュニケーションを取り続ける必要があることを、国民全体が学ぶ必要がある。

## その他報告

本年度も申込多数により期日前に受付を締め切って、当日は申込者のうち約 6 割に参加頂いた。開場前から大勢の来場者が並び熱心に講演を聴いて頂き、アンケートにも沢山のご意見を頂けた。

基調講演は、医師・看護師・薬剤師・医療社会福祉士の様々な職種による講演で、具体例を提示して市民に分かりやすい講演を目指した。講座後半のディスカッションでは患者会代表者にも参加頂き、申請時に集めた来場者の質問からディスカッションを展開した。市民の意見を議論に取り入れて、医療従事者が回答する意見交換の場として、緩和ケアをより身近に感じていただけた。

休憩時間や講演後には昨年製作した普及啓発動画を上映して、緩和ケアが必要な時にはいつでも受けられることを知っていただけるように工夫した。

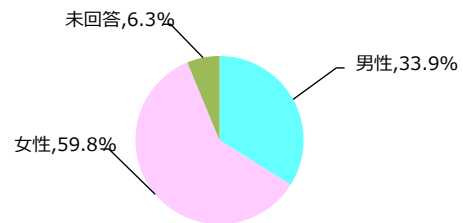
またロビーに設置した資料ブースの資料はほぼ全て持ち帰り頂いたが、展示パネルを見て質問する方は昨年度より少なかった。配布資料や講座内容等を更に充実させて有益な情報を伝える手段を多様化させ、更なる緩和ケアへの正しい理解を促していきたい。

●当日の写真



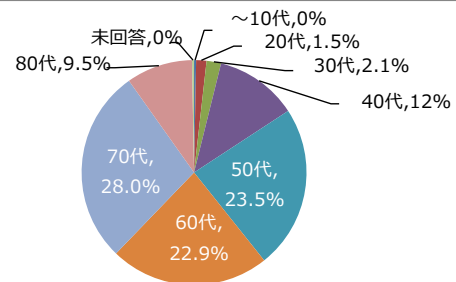
## ■ 性別

回答	数量	割合
男性	114	33.9%
女性	201	59.8%
未回答	21	6.3%
合計	336	100.0%



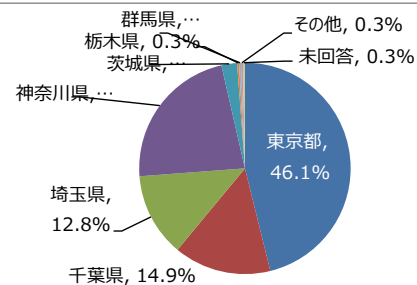
## ■ 年代

回答	数量	割合
～10代	1	0.3%
20代	5	1.5%
30代	7	2.1%
40代	40	11.9%
50代	79	23.5%
60代	77	22.9%
70代	94	28.0%
80代	32	9.5%
未回答	1	0.3%
合計	336	100.0%



## ■ 居住地

回答	数量	割合
東京都	155	46.1%
千葉県	50	14.9%
埼玉県	43	12.8%
神奈川県	76	22.6%
茨城県	8	2.4%
栃木県	1	0.3%
群馬県	1	0.3%
その他	1	0.3%
未回答	1	0.3%
合計	336	100.0%

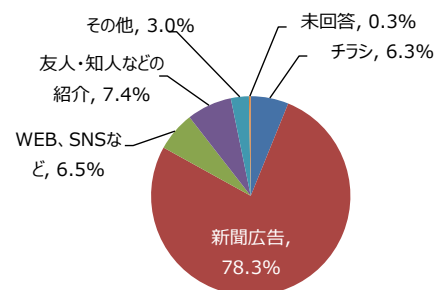


## その他

- ・大阪府

## ● 本日のシンポジウムはどのように知りましたか? (複数回答可)

回答	数量	割合
チラシ	21	6.3%
新聞広告	263	78.3%
WEB、SNSなど	22	6.5%
友人・知人などの紹介	25	7.4%
その他	10	3.0%
未回答	1	0.3%
合計	342	101.8%

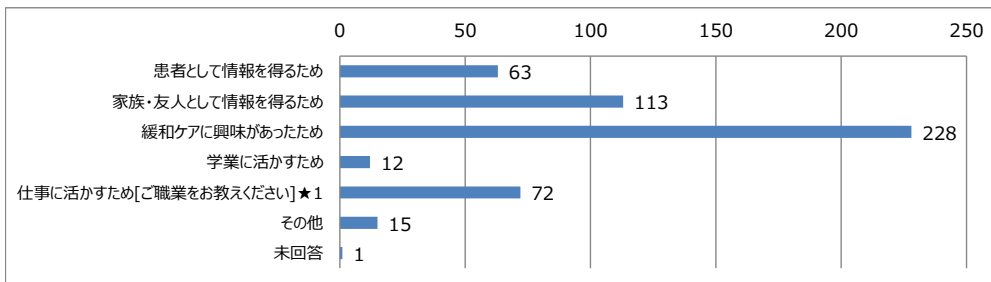


## その他

- ・病院
- ・病院のポスター
- ・娘の紹介
- ・がんセンターにて
- ・前回のセミナーで聞いた@東京医科歯科
- ・患者会
- ・家族

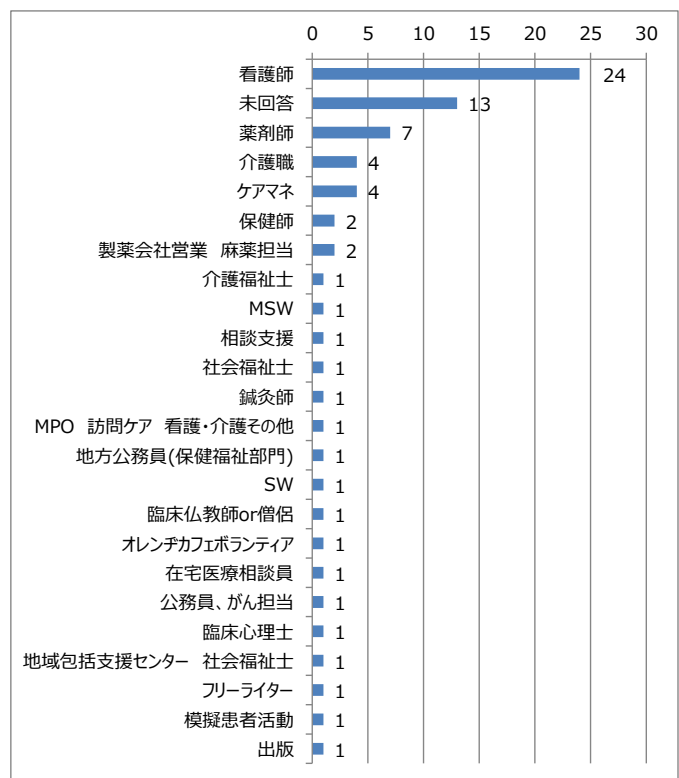
● イベントに参加された理由をお聞かせください（複数回答可）

回答	数量	割合
患者として情報を得るため	63	18.8%
家族・友人として情報を得るため	113	33.6%
緩和ケアに興味があったため	228	67.9%
学業に活かすため	12	3.6%
仕事に活かすため[ご職業をお教えてください]★1	72	21.4%
その他	15	4.5%
未回答	1	0.3%
合計	504	150.0%



★1. 仕事に活かすため[ご職業をお教えてください] 回答 72

回答	数量	割合
看護師	24	33.3%
未回答	13	18.1%
薬剤師	7	9.7%
介護職	4	5.6%
ケアマネ	4	5.6%
保健師	2	2.8%
製薬会社営業 麻薬担当	2	2.8%
介護福祉士	1	1.4%
MSW	1	1.4%
相談支援	1	1.4%
社会福祉士	1	1.4%
鍼灸師	1	1.4%
MPO 訪問ケア 看護・介護その他	1	1.4%
地方公務員(保健福祉部門)	1	1.4%
SW	1	1.4%
臨床仏教師or僧侶	1	1.4%
オレンチカフェボランティア	1	1.4%
在宅医療相談員	1	1.4%
公務員、がん担当	1	1.4%
臨床心理士	1	1.4%
地域包括支援センター 社会福祉士	1	1.4%
フリーライター	1	1.4%
模擬患者活動	1	1.4%
出版	1	1.4%
合計	73	101.4%

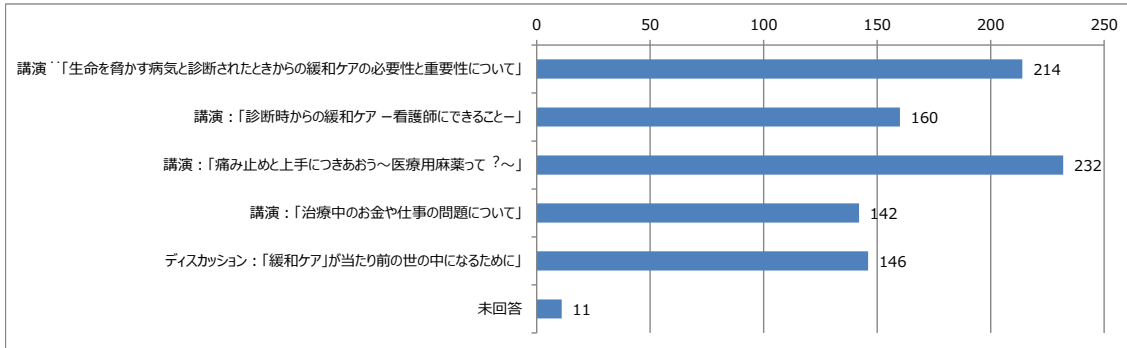


その他

- ・これからの為に
- ・千葉県がんピアサポーターとして活かせたらと思って
- ・家族の診察を受けていた時に医師よりすすめられたので
- ・将来、自分がその立場になった場合の参考の為
- ・今後の自分のライフスタイルの参考の為
- ・60代をまもなく終わるのでこれから起こるであろうかもしれない終活の為
- ・他界した尊敬する上司が緩和病棟で過ごしていて、もっと自分に知識があれば、わずかでも役に立てたかもしれないと思って
- ・将来 がん等の患者に自分になる可能性がある為
- ・夫が肺がんで死亡した為
- ・NPOピンちゃんコロリ研究会の講演テーマとして適切か判断するため
- ・私のがんになり、妻との関係性をよくするためにどうすればいいかわからない
- ・高齢のため緩和ケア以外に選択肢がないため
- ・私は延命治療は望まず、病を受け入れて、穏やかに旅立ちたい願いのため

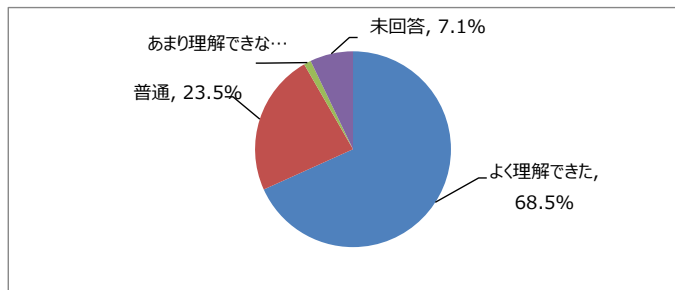
## ●どのテーマに興味を持たれましたか？（複数回答可）

回答	数量	割合
講演「「生命を脅かす病気と診断されたときからの緩和ケアの必要性と重要性について」	214	63.7%
講演「「診断時からの緩和ケア－看護師にできること－」	160	47.6%
講演「「痛み止めと上手につきあおう～医療用麻薬って？～」	232	69.0%
講演「「治療中のお金や仕事の問題について」	142	42.3%
ディスカッション「「緩和ケア」が当たり前の中になるために」	146	43.5%
未回答	11	3.3%
合計	905	269.3%



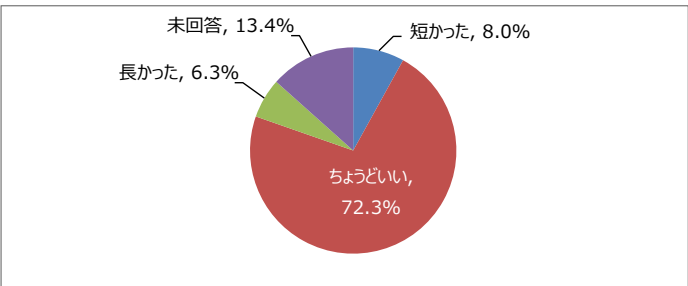
## ●内容はいかがでしたか？

回答	数量	割合
よく理解できた	230	68.5%
普通	79	23.5%
あまり理解できなかった	4	1.2%
未回答	24	7.1%
合計	337	100.3%



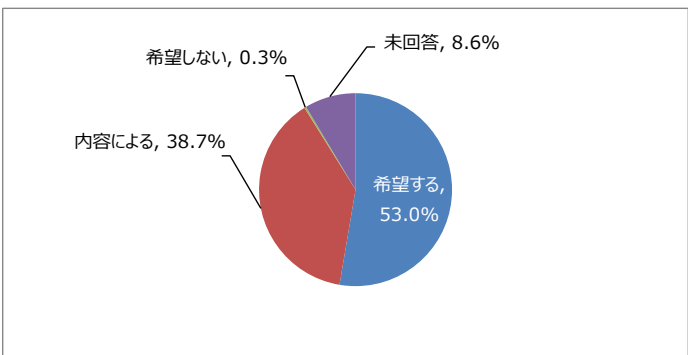
## ●講演時間はいかがでしたか？

回答	数量	割合
短かった	27	8.0%
ちょうどいい	243	72.3%
長かった	21	6.3%
未回答	45	13.4%
合計	336	100.0%



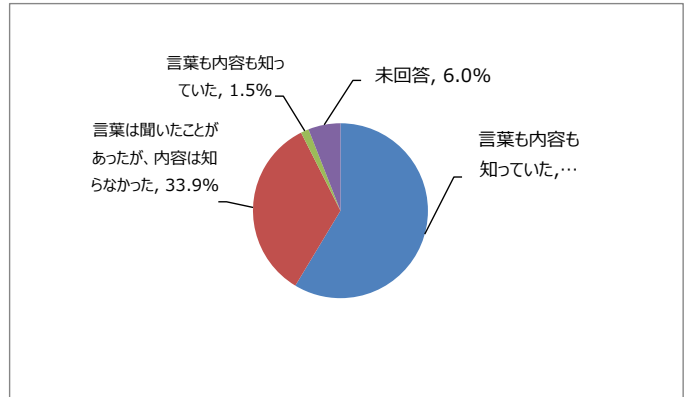
## ●今後、緩和ケアに関するイベントや講座があれば参加を希望されますか？

回答	数量	割合
希望する	178	53.0%
内容による	130	38.7%
希望しない	1	0.3%
未回答	29	8.6%
合計	338	100.6%



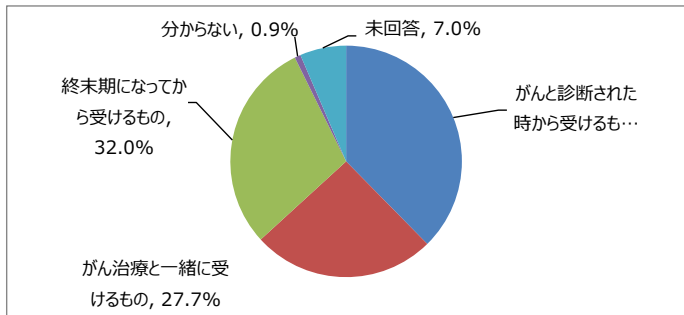
●緩和ケアという言葉をご存知でしたか？

回答	数量	割合
言葉も内容も知っていた	197	58.6%
言葉は聞いたことがあったが、内容は知らなかった	114	33.9%
言葉も内容も知っていた	5	1.5%
未回答	20	6.0%
合計	336	100.0%



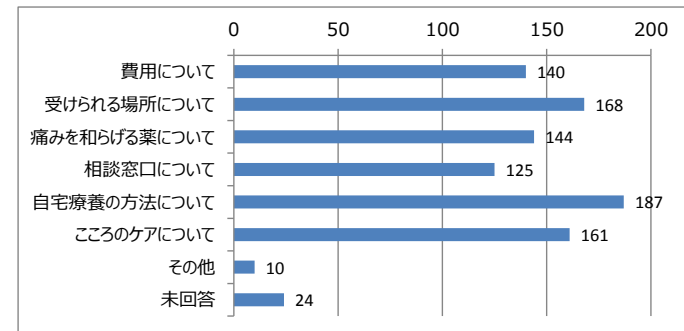
●緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

回答	数量	割合
がん診断された時から受けるもの	134	40.9%
がん治療と一緒に受けるもの	91	27.7%
終末期になってから受けるもの	105	32.0%
分からない	3	0.9%
未回答	23	7.0%
合計	356	108.5%



●緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？ (複数回答可)

回答	数量	割合
費用について	140	41.7%
受けられる場所について	168	50.0%
痛みを和らげる薬について	144	42.9%
相談窓口について	125	37.2%
自宅療養の方法について	187	55.7%
こころのケアについて	161	47.9%
その他	10	3.0%
未回答	24	7.1%
合計	959	285.4%



その他

- ・仕事と障害年金について
- ・ガン以外での緩和ケアの状況
- ・緩和ケア看護
- ・治療をやめるなどの意思決定支援について
- ・その医療機関において各職種がどのように連携しているか
- ・患者家族の心のケアについても情報があった方がよい
- ・地域の具体的な病院名を知りたい
- ・認知機能が低下してきた場合のケアについて
- ・小児緩和ケアについて

# 「もっと知ろうよ！緩和ケア」



参加  
無料

定員450名  
先着順

平成30年  
1月14日(日)

## 市民公開講座

会場：イイノホール（東京都千代田区）

時間：13:30～16:30（受付開始13:00）

参加ご希望の方は、Webの申込みフォームもしくはFAXでお申込みください。

**Web** <http://www.kanwacare-motto.com/>から市民公開講座申込みフォームへ。

**FAX** 裏面のFAX参加申込み書に記入の上、ご送信ください。

※追って、郵便はがきにて参加証を送付させていただきますので当日お持ちください。

### プログラム

#### ●開会のあいさつ

日本緩和医療学会 理事長 細川 豊史 氏（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 教授）

#### ●厚生労働省のあいさつ

厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課 課長 佐々木 昌弘 氏

#### ●講演

「生命を脅かす病気と診断されたときからの緩和ケアの必要性と重要性について」細川 豊史 氏（京都府立医科大学 疼痛・緩和医療学教室 教授）

「診断時からの緩和ケア－看護師にできること－」柏谷 優子 氏（辻仲病院柏の葉 緩和ケア病棟 看護師長 緩和ケア認定看護師）

「痛み止めと上手につきあおう～医療用麻薬って？～」金子 健 氏（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター専任薬剤師）

「治療中のお金や仕事の問題について」杉浦 貴子 氏（聖マリアンナ医科大学病院 がん相談支援センター ソーシャルワーカー）

#### ●ディスカッション「緩和ケアを診断時から活用するためには？」

座長：下山 理史 氏（愛知県がんセンター中央病院 緩和ケアセンター センター長） 池永 昌之 氏（淀川キリスト教病院 緩和医療内科 主任部長）

パネリスト：天野 慎介 氏（全国がん患者団体連合会理事長）

細川 豊史 氏、柏谷 優子 氏、金子 健 氏、杉浦 貴子 氏

#### ●閉会のあいさつ

日本緩和医療学会 委託事業委員長 上村 恵一 氏（市立札幌病院 精神医療センター 副医長）

#### 【本イベントに関するお問い合わせ】

緩和ケア普及啓発活動 イベント事務局

TEL：03-5989-1853（平日10:00～17:00）

MAIL：[info@kanwacare-motto.com](mailto:info@kanwacare-motto.com)

主催：日本緩和医療学会

後援：東京都、全国がん患者団体連合会、日本がん看護学会、日本がんサポーターシップケア学会、日本癌治療学会、日本緩和医療薬学会、日本サイコオンコロジー学会、日本在宅医学会、日本在宅医療学会、日本死の臨床研究会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本ペインクリニック学会、日本放射線腫瘍学会、日本ホスピス緩和ケア協会、日本ホスピス・在宅ケア研究会、日本麻酔科学会、日本臨床腫瘍学会、日本臨床腫瘍薬学会、日本老年医学会

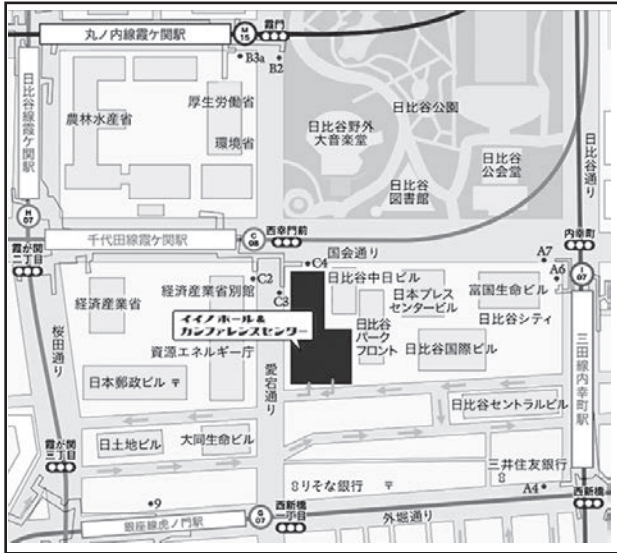
<http://www.kanwacare-motto.com/>

緩和ケア.net





# 「もっと知ろうよ！緩和ケア」



日時：平成30年1月14日（日）

時間：13:30～16:30（受付開始13:00）

会場：イイノホール  
東京都千代田区  
内幸町2丁目1-1  
<https://www.iino.co.jp/hall/>

### 【アクセス】

- ・東京メトロ 日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅 C4出口直結
- ・東京メトロ 丸ノ内線「霞ヶ関」駅 B2出口 徒歩5分
- ・東京メトロ 銀座線「虎ノ門」駅 9番出口 徒歩3分
- ・東京メトロ 有楽町線「桜田門」駅 5番出口 徒歩10分
- ・JR山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋」駅 徒歩10分
- ・都営地下鉄 三田線「内幸町」駅 A7出口徒歩3分

## FAX参加申込書

**FAX送信先：03-5925-2703**

ふりがな

氏名

郵便番号

都道  
住所 府県

※記載のご住所に参加証をお送りしますので正確にご記入ください。

電話番号

E-mail（お持ちの方）

参加ご希望人数（最大2名様まで）

名

※車椅子でご来場のお客様は予めお知らせください。

車椅子のご利用あり

ディスカッションで取り上げて欲しいテーマやご意見

※上記でお預かりしました個人情報、本催事の申込受付ならびに参加証の送付など催事におけるご連絡のために使用させていただきます。  
個人情報のお取り扱いに関するお問い合わせは【緩和ケア普及啓発活動 イベント事務局】（03-5989-1853）もしくは  
<http://www.kanwacare-motto.com/> のプライバシーポリシーをご確認ください。

【本イベントに関するお問い合わせ】

緩和ケア普及啓発活動 イベント事務局

TEL:03-5989-1853（平日10:00～17:00）